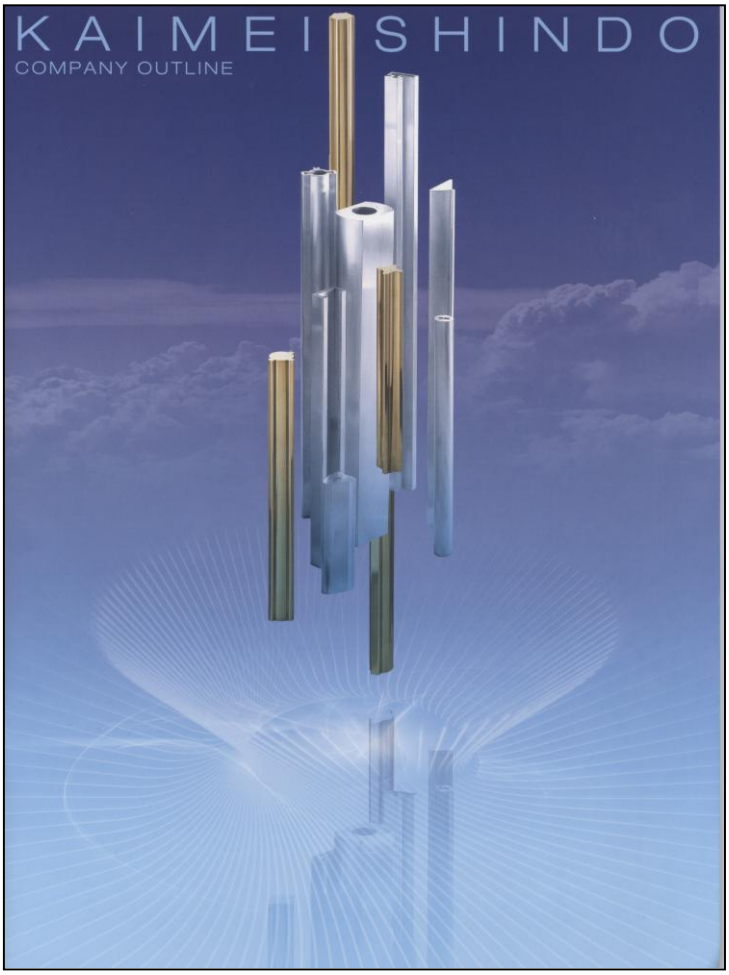
開明伸銅株式会社

2025年度 環境経営レポート

（対象期間：2025年５月～2026年4月）



私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
エコアクション21
®環境省
認証番号0010550

作成日　　：2026年7月31日

発行責任者：管理本部総務課　上道　朱美

目　次

環境経営方針	1頁
組織の概要	2頁
認証・登録の対象組織・活動	2頁
主な環境負荷の実績（全社合計）	2頁
EA-21推進組織図	3頁
環境経営目標及びその実績：本社工場	4頁
環境経営目標及びその実績：東京営業所	5頁
環境経営目標及びその実績：大阪営業所	6頁
基準年度と今年度実績：全社合計分	7頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：本社	8頁～11頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：東京	12頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：大阪	13頁～14頁
環境活動や地域社会への活動紹介	15頁
SDGｓ宣言書	16頁
カーボンニュートラル委員会の活動	17頁
環境関連法規等の順守状況と違反、指摘の有無	18頁
代表者による全体の評価と見直し・指示	19頁

開明伸銅株式会社　　環境経営方針

基本理念

当社は「非鉄金属技術提案業」として環境問題に積極的に取り組みます。京都に生まれ、京都で育った企業として環境問題に取り組み、地域社会との共存共栄を図り、資源の再利用、有効利用を通して国際社会に貢献し、地球環境の保全に努めます。

環境方針

当社は関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関、団体・地域等の要請に協力し、事業活動における地球環境の保全に関する方針を以下の通り定めます。

1．非鉄金属加工に関する事業において環境に与える影響を削減する為に次の事項について優先的に取り組みます。

（1）生産工程における廃棄物の削減に努めます。

（2）社内での歩留向上や働き方改善に取り組み、電気使用量・化石燃料使用量の削減に努めます。
（2030年CO_2削減目標→2013年度比38%削減）

（3）化学薬品管理体制を構築し、削減に努めます。

（4）節水活動による水使用量の削減に努めます。

（5）資源の再利用を推進すると共に、環境製品開発・販売を積極的に推進します。

（6）環境保全の意識向上の為、教育啓蒙活動に努めます。

（7）加工品事業に取り組み、運賃削減を通した化石燃料使用量を削減します。

2．SDGｓへの取り組み

SDGｓの行動目標を宣言し、持続可能な環境社会に向けた取り組みを行います。

2．環境経営マネジメントシステムの確立と継続的改善

この環境経営方針に基づいた環境経営マネジメントシステムを確立し、その継続的改善に努めます。

3．環境経営方針の周知・徹底

この環境経営方針を全ての全社員に周知徹底すると共に、当社ホームページ及び文章等を以って一般に開示します。

制定：2014年7月31日
改定：2022年9月　1日
開明伸銅株式会社
代表取締役　岡村 圭一郎

【組織の概要】

（１）名称及び代表者名
開明伸銅株式会社
代表取締役　　岡村　圭一郎

（２）所在地
本　　社：京都府亀岡市大井町並河３丁目１０番１号
東京営業所：東京都港区芝大門二丁目３番６号　大門アーバニスト５F
大阪営業所：大阪市淀川区西中島３－２１－１３　新大阪日新ビル10F

（３）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者：管理本部　本部長　　岩岡　伸一　　ＴＥＬ：0771-23-6111
担当者：管理本部総務課次長　　上道　朱美　　ＦＡＸ：0771-23-8811
E-mail：kanri@kaimeishindo.com

（４）事業内容
伸銅品・アルミニウム形材の製造・販売

（５）事業の規模（2025年度実績）
主要製品生産量　　5,470 t
売上高　　5,225 百万円
従業員　　116 名
床 面積　　28,552 ㎡（本社 28,270㎡、大阪 129.09㎡、東京 153.35㎡）

（６）事業年度　　5月～4月

【認証・登録の対象組織・活動】

登録事業者名　：　開明伸銅株式会社
対象事業所　：　全事業所（本社工場・大阪営業所・東京営業所）
活　　動　：　伸銅品・アルミニウム形材の製造・販売

【主な環境負荷の実績（全社合計）】

項　　目	単位	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	ｋｇ-ＣＯ２	2,880,879	2,695,622	2,616,245
廃棄物排出量	ｋｇ	165,757	163,577	168,195
（一般廃棄物、専ら物排出量）	ｋｇ	12,834	12,127	10,753
（産業廃棄物排出量）	ｋｇ	152,923	151,450	157,442
水使用量	㎥	3,979	4,655	4,742

※電力の二酸化炭素排出量換算値（全社）　0.318 kg-CO_2/kWh（関西電力2019年度調整後排出係数）

開明伸銅株式会社　EA-21推進組織図

代表者 代表取締役社長 岡村　圭一郎	1. 環境経営方針の策定 2. 経営資源の準備 3. 代表者による全体の評価と見直し・指示 4. 環境経営レポートの承認 5. 環境経営目標及び環境経営計画の承認

環境管理責任者 管理本部　本部長 岩岡　伸一	1. EA21システムの確立、実施推進、維持管理 2. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 4. 環境経営レポートの作成 5. EA21に関する実績把握と報告 6. EA21環境経営マニュアルの作成

EA21事務局 総務課　次長 上道　朱美ほか	1. EA21責任者の補佐業務 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況の確認 3. 教育・訓練計画の策定、実施 4. 環境文書及び記録の作成、管理 5. その他、EA21に関する業務 6. 環境経営レポートの発行

EA21委員会 代表者　岡村　圭一郎 EA21員会メンバー	1. 環境経営目標及び環境経営計画の結果確認 2. EA21に関する審議

本社・工場					営業所	
製造本部		管理本部	技術開発本部	品質保証本部	営業本部	
伸銅	アルミ				東京営業所	大阪営業所

1. 環境経営活動の実施
2. 問題点等の是正処置

【環境経営目標及びその実績：本社工場】

項目	年度	基準値	2025年度（2025年5月～2026年4月）		2026年度目標	2027年度目標
		基準年度	目標	実績		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2／t	3,456	3,352	2,873	3,352	3,352
	基準年比	2019年	97.0%	83.1%	97.0%	97.0%
	購入量（kWh）	5,514,652	5,349,212	4,073,963	5,349,212	5,349,212
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2／t	54.2	43.4	33.6	43.4	43.4
	基準年比	2019年	80.0%	62.0%	80.0%	80.0%
	ガソリン購入量（L）	952	762	590	762	762
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2／t	1,931.2	1,911.9	2,235.6	1,911.9	1,911.9
	基準年比	2019年	99.0%	115.8%	99.0%	99.0%
	購入量（kg）	456,527	451,962	471,190	451,962	451,962
一般廃棄物の削減	kg／t	20.0	19.6	23.9	19.6	19.6
	基準年比	2019年	98.0%	119.5%	98.0%	98.0%
	廃棄量（kg）	10,493	10,283	10,588	10,283	10,283
産業廃棄物の削減	kg／t	388.2	380.5	325.2	380.5	380.5
	基準年比	2019年	98.0%	83.8%	98.0%	98.0%
	廃棄量（kg）	196,958	193,019	157,442	193,019	193,019
廃棄物全体の削減	kg／t	408.2	400.1	349.1	400.1	400.1
	基準年比	2019年	98.0%	85.5%	98.0%	98.0%
	廃棄量（kg）	207,451	203,302	168,030	203,302	203,302
水道水の削減	㎥／t	8.8	8.3	10.5	8.3	8.3
	基準年比	2019年	95.0%	120.0%	95.0%	95.0%
	購入量（㎥）	4,415	4,194	4,742	4,194	4,194
化学物質の購入量把握	kg／t	67.8	62.3	75.4	62.3	62.3
	基準年比	2019年	92.0%	111.2%	92.0%	92.0%
	購入量（kg）	34,530	31,768	28,940	31,768	31,768

※　Kg-CO_2／t 等の表記は生産量トンあたりの原単位を示す

※　関西電力　2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO2/kWhを使用

※　電気購入量の二酸化炭素排出量は、再生可能エネルギー20%を引いた値です。

【環境経営目標及びその実績：東京営業所】

項目 ＼ 年度		基準値	2025年度（2025年5月～2026年4月）		2026年度目標	2027年度目標
		基準年度	目標	実績		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	4,994.0	4,894.1	4,946.0	4,894.1	4,894.1
	基準年比	2024年	98.0%	99.0%	98.0%	98.0%
	購入量（kWh）	15,703	14,476	15,555	14,476	14,476
一般廃棄物の削減	kg	179.3	175.7	145.6	175.7	175.7
	基準年比	2024年	98.0%	81.2%	98.0%	98.0%
資源ごみ（専ら物）の削減	kg	119.0	116.6	125.1	116.6	116.6
	基準年比	2024年	98.0%	105.1%	98.0%	98.0%
廃棄物全体の削減	kg	298.3	292.3	270.7	292.3	292.3
	基準年比	2024年	98.0%	90.7%	98.0%	98.0%
製品・サービスへの環境配慮（注１）	売上実績（kg）	ｶﾄﾞﾐﾚｽ販売数量 470.0	ｶﾄﾞﾐﾚｽ 470.0	ｶﾄﾞﾐﾚｽ 410.7	ｶﾄﾞﾐﾚｽ 470.0 グリーンアルミの引き合い数把握	ｶﾄﾞﾐﾚｽ 470.0 グリーンアルミの引き合い数把握
	基準年	2024年	100.0%	87.4%		

・2023年6月に営業所を移転し、自社ビルから賃貸ビルでグループ会社と同じフロアとなったことに伴い、各種使用量に大幅な変更が発生した。そのため、2024年度は基準年を2023年度に変更した。

2025年度、2026年度については、2024年度を基準年度として活動する。

（注１）・カドミレス材（カドミウム75ppm以下の黄銅棒）

・グリーンアルミ（CO_2排出量の少ない自然エネルギーを使用して精製されたアルミ）

※　関西電力　2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO２/kWhを使用

【環境経営目標及びその実績：大阪営業所】

項目＼年度		基準値	2025年度（2025年5月～2026年4月）		2026年度目標	2027年度目標
		基準年度	目標	実績		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	750.0	735.0	894.0	735.0	735.0
	基準年比	2023年	98.0%	119.2%	98.0%	98.0%
	購入量（kWh）	2,359	2,312	2,811	2,312	2,312
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	2931.0	2198.3	1543.0	2198.3	2198.3
	基準年比	2023年	75.0%	52.6%	75.0%	75.0%
	ガソリン購入量（L）	1,263	947	665	947	947
一般廃棄物の削減	kg	21.5	21.1	18.9	21.1	21.1
	基準年比	2023年	98.0%	87.7%	98.0%	98.0%
資源ごみ（専ら物）の削減	kg	25.3	24.8	13.8	24.8	24.8
	基準年比	2023年	98.0%	54.3%	98.0%	98.0%
廃棄物全体の削減	kg	46.8	45.9	32.6	45.9	45.9
	基準年比	2023年	98.0%	69.7%	98.0%	98.0%
製品・サービスへの環境配慮（注１）	売上実績（kg）	ｶﾄﾞﾐﾚｽ販売数量 470.0	ｶﾄﾞﾐﾚｽ 470.0	ｶﾄﾞﾐﾚｽ 410.7	ｶﾄﾞﾐﾚｽ 470.0 グリーンアルミの引き合い数把握	ｶﾄﾞﾐﾚｽ 470.0 グリーンアルミの引き合い数把握
	基準年	2024年	100.0%	87.4%		

（注1）・カドミレス材（カドミウム75ppm以下の黄銅棒）

・グリーンアルミ（CO_2排出量の少ない自然エネルギーを使用して精製されたアルミ）

※　関西電力　2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO２/kWhを使用

【基準年度と今年度実績：全社合計分】

		基準年度	今年度実績	削減率
電力による二酸化炭素削減	電力購入量（kWh）	5,532,714	4,092,329	74.0%
	二酸化炭素排出量（kg-CO2）	1,759,403	1,301,361	74.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	ガソリン購入量（L）	2,215.0	1,265.0	57.1%
	二酸化炭素排出量（kg-CO2）	5,138.8	2,934.8	57.1%
	軽油購入量（L）	9,647.0	5,412.0	56.1%
	二酸化炭素排出量（kg-CO2）	24,889.3	13,963.0	56.1%
都市ガスによる二酸化炭素削減	都市ガス購入量（kg）	456,527.0	471,190.0	103.2%
	二酸化炭素排出量（kg-CO2）	986,098.3	1,017,770.4	103.2%
一般廃棄物、専ら物の削減	廃棄物量（kg）	10,838.1	10,891.3	100.5%
産業廃棄物の削減	廃棄物量（kg）	196,958.0	157,442.0	79.9%
廃棄物全体の削減	廃棄物量（kg）	207,859.4	168,333.3	81.0%
水道水の削減	購入量（㎥）	4,415.00	4,742.0	107.4%
化学物質の購入量把握	購入量（kg）	34,530.0	28,940.0	83.8%
製品・サービスへの環境配慮	ｶﾄﾞﾐﾙｽ売上実績（kg）	470.0	410.7	87.4%
	二酸化炭素排出量総合計（kg-CO2）	2,775,529.4	2,336,028.8	84.2%

※　各事業所ごとに目標とする削減率は異なります。

※　関西電力　2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO2/kWhを使用

※　電気購入量の二酸化炭素排出量は、再生可能エネルギー20%を引いた値です。

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜　◎良く出来た　　〇まあまあ出来た　　△あまり出来なかった　　×全く出来なかった＞

①電力による削減は目標達成！…◎

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・ホイスト故障、機械故障の低減	×	強化	購入電力量の20%をグリーン電力に替えたことで目標を達成した。 今年度は期首から機械故障が続いたため効率の良い電力使用が出来なかった。 来期は設備故障を長引かせることのないよう取り組んでいく。 目標：基準年度比　97.0% 実績：基準年度比　83.1%
・伸銅、アルミの歩留向上	△	継続	
・グリーン電力の購入	◎	継続	
・空調機フィルターの定期的な清掃	△	強化	
・無試験押しの面数の増加	△	継続	
・金型製作失敗の低減による歩留の向上	△	継続	
・鋳造失敗回数の低減による歩留の向上	×	強化	

関係部署による積極的な意見交換

空調機フィルターの定期清掃

②自動車燃料による削減は目標達成！…◎

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・フォークリフトの運用時間の管理（伸銅）	〇	継続	大きく目標達成することが出来た。次年度も不必要な利用をすることが無いよう心がけ、フォークリフトに変え、社内AGVの活用推進を行っていく。 目標：基準年度比　80.0% 実績：基準年度比　62.0%
・フォークリフトの運用時間の管理（アルミ）	〇	継続	
・車両の走行距離管理及び効率の良い運行計画	×	継続	
・軽トラックの日常点検の実施	〇	継続	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	

軽トラック日常点検の様子

車種　シエンタ　　登録ナンバー　6113

運転後確認								走行距離	
確認者	確認時間	アルコール確認方法 検知器の使用有無	対面	対面不可（電話）	酒気帯び(BAC0.15mg/l以上)の有無（再検査結果）	指示事項・その他必要な事項	確認者	出庫時	入庫時
川本	9:45	有・無	0		有・無（0）		川本	23443	23450
川本	9:20	有・無	0		有・無（0）		川本	23450	23456
土上走	A: 06	有・無	〃		有・無（0）		上道	23456	23457
川本	9:40	有・無	0		有・無（0）		川本	23457	23459
川本	13:55	有・無	0		有・無（0）		川本	23459	23468
大地	9:57	有・無	0		有・無（0）		大地	23469	23469

走行距離数把握の様子

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜　◎良く出来た　　○まあまあ出来た　　△あまり出来なかった　　×全く出来なかった＞

③ガス燃料による削減は未達成！…×

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・生産性の向上（伸銅）	○	継続	今年度はアルミビレット加熱炉の不具合が直りきらず、目標達成出来なかった。 次年度は加熱炉不具合原因の特定と保全・修繕をしっかり行っていく。 目標：基準年度比　99.0% 実績：基準年度比　115.8%
・歩留の向上（アルミ）	×	強化	
・アルミ加熱炉の保全・修繕	×	強化	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・鋳造失敗回数の低減による歩留の向上	×	強化	

伸銅鋳造作業の様子

④一般廃棄物の削減は、目標未達成！…×

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・簡易包装の呼びかけ	×	強化	産業廃棄物に一般廃棄物が混入することのないよう分別強化を図り、昨年より少し良化した。次年度は廃棄物量自体を減らせるよう、購入時の簡易包装の呼びかけ等を行う。 目標：基準年度比　98.0% 実績：基準年度比　119.0%
・分別状況の定期チェック	○	継続	
・リサイクル品の分別強化	○	強化	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・５S活動の継続	○	継続	

廃棄物分別の様子①

廃棄物分別の様子②

古紙回収の様子

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜　◎良く出来た　　○まあまあ出来た　　△あまり出来なかった　　×全く出来なかった＞

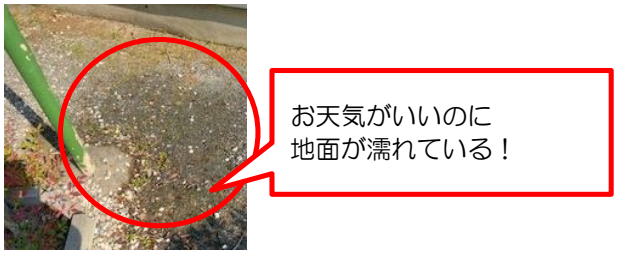
⑤産業廃棄物による削減は目標達成！…○

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・分別状況の定期チェック	○	継続	分別の徹底化が進み、目標を達成することが出来た。特に処分に困っていたビレットの枕木の再利用先が多くあり良化した。 目標：基準年度比　98.0% 実績：基準年度比　83.8%
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・リサイクル品の分別強化	○	強化	
・枕木や梱包材の再利用先、リサイクル化の検討	○	継続	
・５S活動の継続	○	継続	

分別状況チェックの様子

⑥水道水の削減は未達成！…×

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・日常的な節水の励行	○	継続	配管の老朽化による漏水場所がなかなか特定できず、漏水状態が続いてしまった。 今後も水量変化などを注視し、早めの対策を心がける。 目標：基準年度比　95.0% 実績：基準年度比　111.6%
・クーリングタワー設備の管理徹底	○	継続	
・酸洗機の水量管理の徹底	○	継続	
・老朽化による水漏れの点検	×	強化	



水漏れ箇所の地面の様子

埋設管からの水漏れ発見時の様子

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜　◎良く出来た　　○まあまあ出来た　　△あまり出来なかった　　×全く出来なかった＞

⑦化学薬品購入量の削減は、目標達成…×

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×	■上方修正　□下方修正　□基準見直し	
・詰めダイス率の向上	○	継続	アルミの押出状況が変則的な状況の中、苛性ソーダ使用量のコントロールが難しいこともあり、今年度は目標達成することが出来なかった。 目標：基準年度比　92.0% 実績：基準年度比　111.2%
・苛性ソーダの再利用促進	○	継続	
・酸洗い機の硫酸使用量削減（伸銅）	△	継続	
・水処理施設の適正管理	△	継続	

化学物質　令和5年5月～令和6年4月（今年度）

62.5%硫酸は1本につき28kg

	62.5%硫酸	換算値kg	塩化第二鉄液	換算値kg	小林商店金額 50050	パール苛性 kg	換算値kg	ｹﾐｺﾝ酸ｿｰﾀﾞ kg	換算値kg	日星産業金額 50244
5月		0		0		1,000	1,000	25	25	￥176,000
6月	30	840		0	￥35,937	1,000	1,000	25	25	￥176,000
7月		0		0		2,000	2,000	50	50	￥352,000
8月		0	2,040	2,040	￥107,712	1,000	1,000	25	25	￥176,000
9月	30	840		0	￥35,937	2,000	2,000	50	50	￥352,000
10月		0		0		1,000	1,000	25	25	￥176,000
11月		0		0		2,000	2,000	50	50	￥352,000
12月		0		0		2,000	2,000	50	50	￥352,000
1月	30	840		0	￥35,937	1,000	1,000	25	25	￥176,000
2月		0		0		2,000	2,000	50	50	￥352,000

購入量把握の様子

水処理施設の様子

２ヵ月に１回開催しているエコアクション委員会の様子（東京と大阪はテレビ会議システムで出席）

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

東京

＜　◎良く出来た　　○まあまあ出来た　　△あまり出来なかった　　×全く出来なかった＞

①電力による削減は、目標未達成…△

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	△	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・未使用箇所の電灯チェック	○	継続	今年度は直近の2024年度を基準年度とした。目標には到達出来なかったが、昨年に比べてかなり良化した。今後も継続して努力したい。 目標：基準年度比　98.0% 実績：基準年度比　99.1 %
・エアコンのこまめな温度管理	○	継続	
・エアコンフィルターの定期清掃	○	継続	

移転先の東京営業所ビル外観

エアコン温度のこまめな調整

②廃棄物の削減は、目標達成…○

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・分別管理の徹底	○	継続	今年度は直近の2024年度を基準年度とした。ペーパーレス化や分別を強化し、専ら物の割合を増やせるよう努める。 目標：基準年度比　98.0% 実績：基準年度比　90.7%
・分別状況の定期チェック	○	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	強化	

④製品・サービスへの環境配慮は、目標達成…△

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	△	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・環境製品の積極的な販売	×	継続	銅価高騰による顧客の買い控え等の影響もあり、カドミレス販売量は目標未達となったが、今年度はあらたにグリーンアルミに関する引き合いを増やせるよう営業活動に励んだ。 目標：ｶﾄﾞﾐﾚｽ販売量　470.0t/年 実績：ｶﾄﾞﾐﾚｽ販売量　410.7t/年
・環境製品への切替促進	△	継続	
・環境製品の積極的な見積り	○	継続	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・グリーンアルミの引き合い数を把握	△	継続	

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

大阪

＜　◎良く出来た　　〇まあまあ出来た　　△あまり出来なかった　　×全く出来なかった＞

①電力による削減は、目標未達成…×

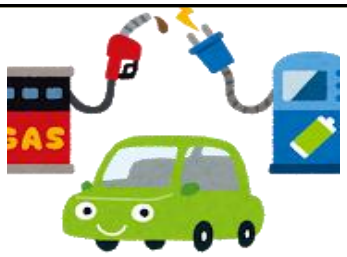
取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・残業時間削減の取組み	×	継続	昨年同様に2023年度を基準年度とした。 会議の回数が増加し、事務所の利用頻度が増えたことで目標未達となった。来期は効率の良い使用を徹底して行っていく。 目標：基準年度比　98.0% 実績：基準年度比　119.2%
・エアコンフィルターの定期清掃	△	継続	
・祭日等の営業所閉鎖日（本社へ出勤）の設定	〇	継続	

エアコンの設定温度管理

エアコンフィルターの定期清掃

②自動車燃料による削減は、目標達成…◎

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・効率の良い運行計画の実施	〇	継続	昨年同様に2023年度を基準年度とした。 営業車を燃費の良い車種に買い換えたこともあり、大きく目標を達成することが出来た。 目標：基準年度比　75.0% 実績：基準年度比　52.7%
・走行距離数の把握	〇	継続	
・営業車の走行設定をエコにする	〇	継続	



【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

大阪

＜　◎良く出来た　　○まあまあ出来た　　△あまり出来なかった　　×全く出来なかった＞

③廃棄物の削減は、目標達成！…◎

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・ゴミ廃棄メモの管理	○	継続	昨年同様に2023年度を基準年度とした。 ペーパーレス化や分別を強化し、専ら物の割合を増やせるよう努める。 目標：基準年度比　98.0% 実績：基準年度比　70.0%
・分別状況の定期チェック	△	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	継続	

ゴミ箱を色分けして分別

会議資料のペーパーレス化

④製品・サービスへの環境配慮は、目標未達成…△

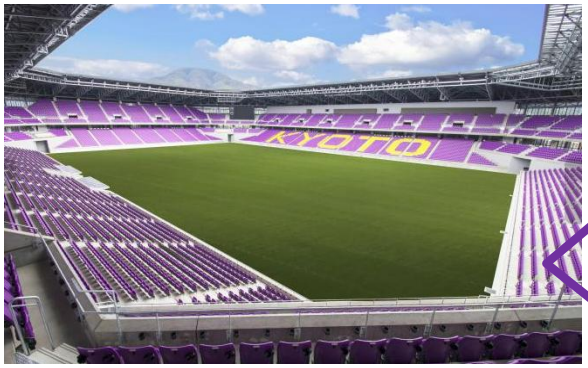
取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	△	□上方修正　□下方修正　■変更なし	
・環境製品の積極的な販売	×	継続	銅価高騰による顧客の買い控え等の影響もあり、カドミレス販売量は目標未達となったが、今年度はあらたにグリーンアルミに関する引き合いを増やせるよう営業活動に励んだ。 目標：ｶﾄﾞﾐﾚｽ販売量　470.0t/年 実績：ｶﾄﾞﾐﾚｽ販売量　410.7t/年
・環境製品への切替促進	△	継続	
・環境製品の積極的な見積り	○	継続	
・カーボンニュートラル委員会で現状把握	◎	継続	
・グリーンアルミの引き合い数を把握	△	継続	

黄銅異形中空棒　ミトーセル®

【環境活動や地域社会への活動紹介】

亀岡市にある関西盲導犬協会への募金を募ったり企業として寄付の継続を行っています。

以前「盲導犬クイールの一生」という映画では亀岡市が撮影場所になりました。
亀岡市にある企業として、これからも盲導犬育成のお手伝いができればと思います。



地域振興の一環で、サッカーチーム、京都パープルサンガさんの企業サポーターとして応援しています。

亀岡駅隣のサンガスタジアムで試合がある時は、大盛り上がりです！京都ゆかりのチームの活躍をみんなで応援しています！

使用済みの切手を集めています。

NPO法人などを通じて、この活動で世界各国の恵まれない子供たちを病気や飢餓から救うことが出来るそうです。ちょっとした事ですが、こんな活動が１人でも多くの子供たちを笑顔にできればいいですね。

会社でペットボトルのキャップを集めています。

この活動を通して世界の子供達を病気から守るお手伝いができればと思います。
自動販売機の横に専用のゴミ箱を置き、キャップだけが入るよう工夫しました。
飲料メーカーさんが、回収に協力下さっています。

2022年2月

開明伸銅 株式会社

SDGs宣言書

SDGsが掲げる目標達成に向け、下記のとおり宣言いたします

SDGsとは、「持続可能な開発目標 」（Sustainable Development Goals）の略称です。
「誰一人取り残されない」世界の実現にむけ、2030年までに達成すべき17の目標と、
169のターゲットが定められています。

取り組みテーマ	具体的取り組み	SDGs目標
地球環境に配慮したモノづくり	非鉄金属製造会社として、「環境経営方針」を遵守し、地球環境に配慮したモノづくりを行ってまいります。 【主な取組】 ・人や環境に配慮した黄銅異形中空棒「ミトーセル」の開発 ・エコアクション２１の認証継続 ・ＣＯ２排出量の把握と削減に向けた具体的な取組の実施	
全ての従業員が輝ける会社づくり	ワークライフバランスの実現と、全ての従業員が能力を十分に発揮できるような職場づくりを行ってまいります。 【主な取組】 ・階層別教育の継続実施 ・男性従業員の育児休暇取得の積極的な推奨 ・「クレド」の配布や会議を通じた従業員との経営理念の共有 ・女性活躍推進の取り組み	
地域社会との共存共栄	私たちは、京都に生まれ、京都で育った企業として、地域社会との共存共栄のために、さまざまな活動を行ってまいります。 【主な取組】 ・地元の学校からの社会見学や就業体験の受け入れ ・各種関係団体への寄付 ・地元人材の雇用や近隣企業の積極的な利用	

【カーボンニュートラル委員会の活動】

カーボンニュートラルの基礎を学び、自社が製品を１トンあたり出荷するのに、どれぐらいの炭酸ガスを排出しているかを計算しています。
今年度はグリーン電力購入の継続や、資本財の減少等により、昨年に比べて炭酸ガス排出量が微減しました。次年度以降も引き続き炭酸ガス排出量削減に向けて努力していきます。

開明伸銅株式会社　　生産量（トン）　5,470.3

2025年度　　炭酸ガス排出量

Scope	カテゴリー	内容		排出量(t)	出荷1tあたり排出量
1		自社	直接排出	1,319.52	0.241
2			エネルギー起源の間接排出	1,274.91	0.233
3	1	上流	購入した製品・サービス	42,274.53	7.728
	2		資本財	157.17	0.029
	3		Scope1・2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	611.47	0.112
	4		輸送、配送（上流）	2,524.18	0.461
	5		事業から出る廃棄物	30.55	0.006
	6		出張	15.21	0.003
	7		雇用者の通勤	29.98	0.005
	8		リース資産（上流）	0.00	0.000
	9	下流	輸送・配送（下流）	17.29	0.003
	10		販売した製品の加工		
	11		販売した製品の使用	-	-
	12		販売した製品の廃棄	33.66	0.006
	13		リース資産（下流）	-	-
	14		フランチャイズ	-	-
	15		投資	-	-
その他				-	-
合計				48,288.5	8.827

【環境関連法規等の遵守状況と違反、指摘の有無】

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（油水廃油、廃アルカリ汚泥、金属屑他） （廃棄物の削減、適正処理、定められた業者への委託、廃棄物管理表の交付及び報告等） 特別産業廃棄物（多量排出者削減計画の提出、電子マニフェストの利用）	○
家電リサイクル法	ブラウン管、液晶、プラズマ式テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機、ユニット型エアコン （特定家庭用機器の長期間の使用による廃棄物抑制、廃棄時の適正処理）	○
小型家電リサイクル法	使用済小型家電等（電話、ファックス、携帯電話、映像用機械器具、プリンターほか） （分別廃棄の徹底、適正事業者への引き渡し）	○
自動車リサイクル法	営業車、運送用2tトラック （廃棄時の適正業者への引き渡し、リサイクル料金の支払い）	○
省エネ法	電気、灯油、ガソリン、ＬＰＧ等 （エネルギー使用量の削減、使用状況等の報告）	○
騒音・振動規制法	切断機、コンプレッサー、ブレーキプレス、シャーリング （環境測定実施と記録保管、法規制基準の遵守等）	○
消防法	作動油、灯油、塗料の貯蔵 （法規制基準の遵守、点検と記録の保管、危険物取扱主任者の選任等）	○
下水道法	重金属処理 （法規制基準の遵守、点検と記録の保管等）	○
大気汚染防止法	金属溶解炉 （環境測定実施と記録保管、法規制基準の遵守等）	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷蔵庫、冷凍機 （簡易点検の実施、定められた回収業者への委託等）	○
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ、硫酸の貯蔵 （貯蔵場所の表示、容器への表示、作業者への取扱注意喚起等）	○
工場立地法	特定工場の届出 （適正な届出）	○
労働安全衛生法	作業主任者、衛生管理者、産業医の配置 （各有資格者の選任、健康診断・ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽの実施、化学物質ﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄの実施、教育等）	○
公害防止組織法	特定工場の届出 （公害防止統括者、公害防止管理者の選任、届出等）	○
化学物質管理法 （PRTR制度）	第二塩化鉄液 （適正な届出）	○

環境関連法規制の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、近隣からの訴訟等は過去３年間ありません。

【代表者による全体の評価と見直し・指示】

【変更の必要性の有無・指示事項】

①環境経営方針　　変更の必要性：□あり　☑なし

②実施体制　　変更の必要性：□あり　☑なし

③環境活動目標、活動計画　　変更の必要性：☑あり　□なし

製品・サービスへの環境配慮については、方針の変更に必要があると考えています。
現時点でカドミレスの需要は一服しており、今後はグリーンアルミへの引き合い数や、リサイクル業者へのスクラップ売却などをテーマにしてはどうかと思います。
また、設備故障による目標未達も散見されますので、活動内容に点検を入れたり、目標に稼働率を入れては如何でしょうか？

【代表者による総括】

2025年度は2024年度と比較して、カーボンニュートラルへの取り組みが取引先においてトーンダウンした印象があります。特に銅業界においては、リサイクル率が高い状況もあり、特に大きな動きとなっていません。
しかしアルミ業界では、CO2排出量の開示など一定のレベルが必要となってきています。
今後は第三者機関の承認の必要性も考えられますので、必要資料は十分に揃えておいて下さい。
また物価高騰の影響も踏まえて、現在使用している消耗品などの長寿命化などの検討をしては如何でしょうか。

開明伸銅株式会社
代表取締役　岡村 圭一郎